2013年11月6日

横手市長 高橋 大 様

日本共産党横手市議会議員団
齊藤 勇 立身 万千子

燃油高騰に関わる補助の実施と除排雪支援の拡充についての申し入れ

アベノミクスによる物価上昇、円安による原油価格高騰で、低所得者の生活や農業・漁業者の経営が圧迫されています。

本年8月からの生活保護基準の切り下げ（平均6.5%）、さらに10月以降の円安による食料品や電気料金などの値上げが一斉に始まったことで、低所得者の生活が直撃されている深刻な現状は看過できません。その上、一般家庭向けの灯油は昨年10月比18ℓ当りで1677円から1829円と152円も値上がりとなりました。このまま推移すると、年間新たに一世帯当たり平均11000円を超える負担増が予想されます。低所得者は命に直結する事態にもなりかねません。

また、農業・漁業者向けA重油は、2009年の1ℓ当り60円台から2013年には90円台と値上がりし、この一年間だけでも12%以上の値上がりとなっています。県内でも顕著な生産額を誇る当市の菌床しいたけを始め、花き等のハウス栽培を中心に燃油高騰で経営が圧迫され農業者は悲鳴をあげている状況です。

低所得者の生活そして農水産物を市民・県民に安心して供給確保し、また農業・漁業者の経営を守るためにも、燃油高騰分に対する横手市そして秋田県としての燃油代補助が必要と考えます。

当市でいち早く実施し、端を発した昨年の福祉灯油、除排雪支援事業は市民・県民から大変喜ばれました。引き続き、今年度も予算措置を願うものです。

以上により、下記について申し入れます。

記

1. 住民税非課税世帯等低所得者へ灯油代補助「福祉灯油」を実施すること。
2. 介護・福祉施設や障害者共同作業所などへの灯油代を補助すること。
3. 農業・漁業者への燃油代補助を実施すること。
4. 高齢者や一人親世帯・障害者世帯への福祉除排雪支援を行うこと。

以上